

令和 6 年 6 月 13 日現在

機関番号：12201

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2019～2023

課題番号：19K02497

研究課題名(和文)SDGsを目指した持続可能な地域の形成条件とESD評価方法に関する実証研究

研究課題名(英文)Empirical Study on Conditions for the Formation of Sustainable Regions toward SDGs and on Evaluation Methods of ESD

研究代表者

湯本 浩之(Yumoto, Hiroyuki)

宇都宮大学・留学生・国際交流センター・教授

研究者番号：20534712

交付決定額(研究期間全体):(直接経費) 3,300,000円

研究成果の概要(和文):本研究では、地域の持続可能性を高める教育の役割とその評価方法を明らかにした。従来のSDGsに関する国際的指標と先行研究の検討を行った上で、ESDやSDGsに関して先進的取り組みを行ってきた4つの地域の事例調査を行った。調査結果の比較事例分析により、地域の持続可能性を高める教育のあり方に共通する要素を抽出し、ケースレポートを作成した。このレポートを再分析することで、SDGsの理念が地域へのインパクトを生み出す過程について、「SDGs理念の受容条件」「SDGs理念の解釈と変換方法」「SDGsと地域課題との整合性」「変革に向けた地域運動の生成」といった詳細な評価の観点を提起した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

国際的なSDGs理念の広まりを受けて、国内の各自治体・地域でSDGsの実施体制が整えられつつある。しかし、先行研究では、ESDやSDGsに関する地域の社会条件の分析や、包括的な教育体制の構築、そしてESDの進捗状況を測定するための評価方法に課題があり、SDGsの理念を実現する具体的方策を明らかにできなかった。

本研究では、先進的事例に基づいて、SDGs理念の受容や解釈、地域の社会条件、そして行政組織・市民社会組織の体制と両者の関係性について詳細な評価観点を提起した。この観点に基づいて、各自治体・地域の状況を分析することで、持続可能な地域の形成に向けた具体的条件を明らかにすることができる。

研究成果の概要(英文):This study clarified the role of education in enhancing local sustainability and its evaluation methods. After reviewing existing international indicators and previous studies on SDGs research, we conducted case studies of four regions that have made advanced efforts regarding ESD and SDGs. Through comparative case analysis of the survey results, we prepared the case reports that identified common elements in education enhancing regional sustainability. By reanalyzing this case reports, we proposed four detailed evaluation perspectives on the process by which the SDGs principles created impact in the regions, including "conditions for acceptance of the SDGs principles," "methods of interpretation and transformation of the SDGs principles," "consistency between the SDGs and regional issues," and "generation of regional movements toward change."

研究分野：教育学

キーワード：SDGs ESD 評価方法 持続可能な地域 地域へのインパクト アクティブ・シティズンシップ プラットフォーム 対話

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

## 様式 C - 19、F - 19 - 1 (共通)

### 1. 研究開始当初の背景

2002年の第2回地球サミットでの合意を受けて、2005年から持続可能な開発のための教育(以下ESD)の推進のための国連の10年(DESDE)が実施され、その後継事業であるグローバル・アクション・プログラム(GAP)が展開された。また、2015年に国連で採択された持続可能な開発目標(以下SDGs)では、社会・経済・環境の持続可能性を重視した世代間公正や世代内公正を基本理念としながら、その実現に向けた教育としてのESDが強調された。日本でもSDGsの実施指針のほか、ESDの国内実施計画が策定され、関係省庁をはじめ企業や教育機関、市民社会や地域社会等との協働による取り組みが始まった。

これらの国内外の動向を鑑み、この研究チームでは、開発教育・環境教育・社会教育の各研究領域で、ESDやSDGsの考え方を学校教育や社会教育、高等教育の現場で普及する方法、市民社会組織の活性化、効果的な学習プログラム、活動の担い手育成等に関する研究を進めてきた。

しかし、これらの研究にもかかわらず、自治体や地域社会レベルでは、ESDやSDGsに関する具体的な取り組みが進まない状況が見られた。この理由は3つにまとめられる。第1に、社会・環境・経済という3つの持続可能性を高める上で重要となる社会関係資本(Social Capital)等の地域の社会条件の分析が不十分であったことである。例えば、2018年に内閣府で認定されたSDGs未来都市の取り組み内容を見ると、環境面への配慮や、持続可能な都市経営、産官学民の連携等の内容が掲げられている一方で、社会・環境・経済の取り組みを円滑に支える地域の社会条件や、その担い手となる組織や市民の育成への関心が希薄であった。

第2に、持続可能な地域の形成に向けた、学校外教育も含む包括的教育体制の構築が課題となっていた。ESDに関しては、文部科学省のユネスコスクールや、環境省が中心となったRCE等の施策が進められてきたが、学校教育・高等教育分野での取り組みに比べると、社会教育の役割や、市民社会組織の教育機能への注目は少なかった。

第3に、ESDの進捗状況を測るための国際的指標にも課題が多かった。例えば、SDGの達成状況を評価する指標は多岐にわたるが、そのうち、教育分野の目標4に関するユネスコの“Global Indicators for SDG 4”といった指標にも計測の難しい抽象的な項目が多くなっていった。これらの指標を、国内の各地域で活用できる形に組み替えていく必要があると考えた。

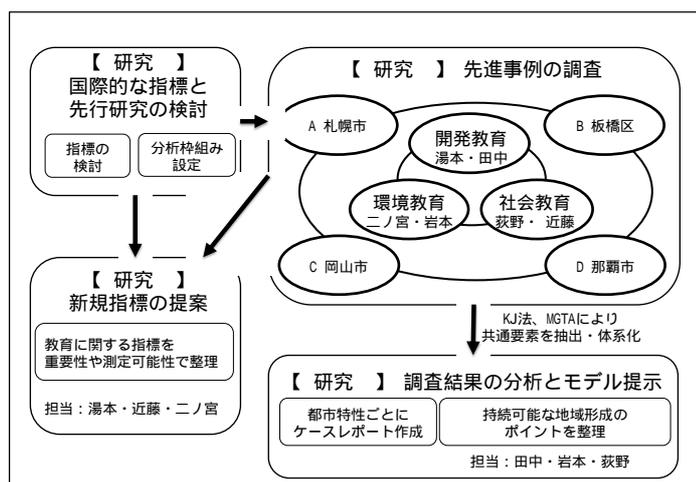
### 2. 研究の目的

以上の背景を踏まえ、本研究の目的を、地域の持続可能性を高める教育の役割とその評価方法を明らかにすることとした。具体的には(1)ESDやSDGsに関して、先進的取り組みを行ってきた地域の事例分析により、地域の持続可能性を高める教育のあり方に関する理論化を図り、この結果を受け、(2)ESDに関する取り組みの成果を測定するための、活用可能な指標を提案することとした。

### 3. 研究の方法

2019年度から2023年度の5年間にわたって、【研究I】国際的な指標と先行研究の検討、【研究II】先進事例の調査、【研究III】調査結果の分析とモデル提示、【研究IV】新規指標の提案の4つの研究を進めた。当初は3年間の計画であったが、新型コロナウイルスの影響で調査が難しかったこともあり、2年間研究期間を延長した。

研究チームは、図に示すように代表者(湯本)と分担者3名(二ノ宮、岩本、荻野)研究協力者(田中治彦：上智大学名誉教授、近藤牧子：開発教育協会、および各自治体における協力者)によって構成した。研究チームでは定期的に研究会議を開催し、事例調査は共同で行った。



### 4. 研究成果

#### 【研究I】国際的な指標と先行研究の検討

国際的指標と先行研究の検討について、2019年度から以下の手順で検討を行った。

- (1) 田中が編集代表となった『SDGsカリキュラムの創造』において、学校教育および社会教育のSDGsカリキュラムの特徴を検討した。具体的には、SDGs学習におけるカリキュラムづくり、ファシリテーター養成、ESD評価論について検討を進めた。
- (2) 本科研のメンバーが中核となった日本社会教育学会のプロジェクト研究の中で、田中はESDからSDGに至る流れの整理を行い、近藤はSDG4をめぐる国際的動向を整理した。

- (3) 田中と近藤が中心になり『SDGs 学習のつくりかた』を編集し、地域課題・グローバルな課題と、SDGs との関連性を明らかにした。
- (4) ユネスコの Global Report on Adult Learning and Education 5th の文部科学省回答に対する提言を行った。提言内容は、ほぼ全面的に採用された。
- (5) 2022 年 6 月に開催された第 7 回ユネスコ国際成人教育会議における ESD に関する国際的議論や、世界各地の実践報告の整理を行った。日本社会教育学会研究大会や、この会議のフォローアップ会合にて、この研究成果を発表した。
- (6) 日本社会教育学会が刊行する 3 年間のプロジェクト研究の成果を総括する研究誌の編集に携わり、研究成果を公表した。

以上の研究を通じて、4 つの研究課題が見出された。第 1 に、従来の社会教育実践を SDG4 の観点から捉え直す必要があることである。第 2 に、SDG の各目標に対して主体形成を促進していく実践のあり方を問い直す視点である。第 3 に複数の目標を総合化して、トータルに SD を達成していこうとする実践の視点である。第 4 に、基礎教育、職業教育、アクティブ・シティズンシップ教育の 3 つの領域を分断せず、複合的に地域で取り組む視点である。この点に関わって、日本では各領域が分断されているという課題も明らかにできた。

#### 【研究】 先進事例の調査

2020 年度から 2021 年度にかけて先進事例の調査を、以下の手順で進めた。

- (1) 調査対象地の選定のため、田中編の『SDGs とまちづくり』の編集過程で明らかになった全国約 40 の市町村の取り組みについて、グループのメンバーで検討を行った。
- (2) この中から、SDGs に先進的に取り組む札幌市・板橋区・岡山市・那覇市という 4 つの自治体を抽出した。さらに、高等教育機関が進めるネットワークキングの動きとして、神戸の RCE も調査対象とした。調査は、オンラインで半構造化面接調査により行った。調査項目は、取り組みの経緯、取り組みの成果と課題、関係者との連携・協働の 3 つとした。
- (3) 各事例の聞き取り内容に基づき、SDGs に関わる地域特性・社会教育・市民活動の状況、ESD から SDGs に至る取り組みの特徴、取り組みの理念と目的、取り組みの成果と課題といった点を中心に、札幌・板橋・岡山の 3 地域についてケースレポートを作成した。

#### 【研究】 調査結果の分析とモデル提示

2022 年度に研究 のケースレポートを俯瞰し、共通の論点の抽出を進めた。具体的には、SDGs の理念に基づく政策や行政組織の変化、地域の団体や市民組織の連携・協働を強化するためのプラットフォーム構築の方法、官民の対話や熟議を成立させるためのファシリテーションの方法、対話を通じた関係者の相互変容の過程、といった重要な教育要素を明らかにした。

#### 【研究】 新規指標の提案

最終年度の 2023 年度には、研究 ・ に基づいて、「SDGs 理念の受容条件」「SDGs 理念の解釈と変換方法」「SDGs と地域課題との整合性」「変革に向けた地域運動の生成」という、SDGs の理念の受容のプロセスに関する 4 つの評価観点を設定した上で、研究 で作成した 3 つの先進地域のケースレポートを再分析して、評価の観点を精緻化した。この研究により、SDGs の理念が地域へのインパクトを生み出すに至る行政側の体制、市民組織側の体制、両者の関係性等について、以下に示す詳細な評価の観点を設定できた。

- (1) 「SDGs 理念の受容条件」「市民組織の基盤と持続可能性の理念の浸透」「公的社会教育施設による学習の基盤づくり」「政策における持続可能性への意識」
- (2) 「SDGs 理念の解釈と変換方法」「ターゲット作成活用」「理念活用」「ゴールタイトルの活用」
- (3) 「SDGs と地域課題との整合性」「市民組織における SDGs 理念やプロセスへの理解」「自治体政策におけるゴールタイトルの活用状況」
- (4) 「変革に向けた地域運動の生成」「地域運動の基盤となるプラットフォームづくり」「プラットフォームにおける学習とネットワークの質」「行政組織と市民組織の関係性」「政治的意思決定への参加の仕組み」

今後は、この評価観点に基づいて、それぞれの自治体・地域の状況を分析することにより、持続可能な地域の形成に向けた状況の診断と、課題の特定化を進めることができる。

本研究を踏まえて、今後深めるべき論点は以下の 4 点である。第 1 に、SDGs のルーツを、4 つのグローバル課題(南北問題・環境問題・人権問題・東西問題)から捉える複合的視座である。SDGs を一時期の流行に終わらせないために、歴史的な課題との接合が重要である。第 2 に、SDGs 学習の中核に「行為主体としての市民参加を促す学習と教育」「民主的価値を育む学習・教育」のアクティブ・シティズンシップ教育を位置付ける視点である。第 3 に、地域の ESD 実践を SDGs 実践へと発展させるための生涯学習プラットフォーム構築の方法をより明瞭にしておくことである。このことが、SDGs の取り組みを様々な地域に広げていくために重要な要素となる。第 4 に、地域の非対称な関係を前提に、相互変容を促していくための「対話」の場の条件や、ファシリテーションの方法を追究していくことである。

## 5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計68件（うち査読付論文 17件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 26件）

1. 著者名 荻野 亮吾	4. 巻 927号
2. 論文標題 住民主体の地域づくりに向けた学習をどのように進めていくか? : コミュニティ・エンパワメントの方法と評価	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 社会教育	6. 最初と最後の頁 18-24
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 荻野 亮吾	4. 巻 59
2. 論文標題 報告 SDG4の視点と社会教実践の新たな方向性	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 社会教育学研究	6. 最初と最後の頁 85-87
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 田中 治彦	4. 巻 59
2. 論文標題 報告 プロジェクト研究の到達点と今後の課題	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 社会教育学研究	6. 最初と最後の頁 98-100
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 近藤 牧子	4. 巻 59
2. 論文標題 報告 SDGsに定める社会教育 : アクティブ・シティズンシップ涵養の観点から	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 社会教育学研究	6. 最初と最後の頁 100-102
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 湯本 浩之	4. 巻 305号
2. 論文標題 「SDGsを学ぶこと」の陥穽と今後の課題：「持続可能な社会の創り手」を育てていくには	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 時報市町村教委	6. 最初と最後の頁 16-18
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 田中 治彦	4. 巻 67
2. 論文標題 「SDGsと社会教育・生涯学習」の課題	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 日本の社会教育	6. 最初と最後の頁 10-21
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 近藤 牧子	4. 巻 67
2. 論文標題 SDGsに応える社会教育：アクティブ・シティズンシップ教育の観点から	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 日本の社会教育	6. 最初と最後の頁 22-34
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 荻野 亮吾	4. 巻 67
2. 論文標題 地域のプラットフォーム組織化過程におけるSDGsの実践の構造化に関する比較事例分析	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 日本の社会教育	6. 最初と最後の頁 75-86
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 二ノ宮リム さち	4. 巻 67
2. 論文標題 対立に向き合う「対話」の場づくり："誰ひとり取り残さない"社会を拓く社会教育	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 日本の社会教育	6. 最初と最後の頁 101-113
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 荻野 亮吾・近藤 牧子	4. 巻 8
2. 論文標題 SDGs の地域へのインパクトに関する評価観点の検討：3つの地域のケーススタディを通じて	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 佐賀大学大学院学校教育学研究科紀要	6. 最初と最後の頁 358-375
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.34551/0002000590	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 田中治彦	4. 巻 58号
2. 論文標題 History of Youth Work and Social Education in Japan (3)	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 上智大学教育学論集	6. 最初と最後の頁 69-100
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 田中 治彦	4. 巻 56
2. 論文標題 History of Youth Work and Social Education in Japan (1)	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 上智大学教育学論集	6. 最初と最後の頁 73～89
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 近藤 牧子・松倉 紗野香・山中 信幸	4. 巻 28
2. 論文標題 持続可能な開発に向けた教育ファシリテーションに対する教師の問題意識と学習観点教育方法観の変容分析をもとに	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 日本国際理解教育学会	6. 最初と最後の頁 3~12
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 荻野 亮吾	4. 巻 29
2. 論文標題 学校-地域間関係の再編を促す政策の課題と展望 「熟議」を支える地域社会の実現に向けて	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 日本教育政策学会年報	6. 最初と最後の頁 39~52
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.19017/jasep.29.0_39	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 岩本 泰	4. 巻 858
2. 論文標題 SDGs (持続可能な開発目標) の視点からの学びづくり	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 兵庫教育	6. 最初と最後の頁 26~29
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 湯本 浩之	4. 巻 920
2. 論文標題 持続可能な開発のための学び	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 教育	6. 最初と最後の頁 52~59
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 原田 保・西田 小百合・古賀 広志・鈴木 紳介・二ノ宮リム さち・黒崎 岳大・石原 圭子・松村 茂	4. 巻 20
2. 論文標題 社会デザインのための新機軸創造 地域デザイン学会による接近方法の諸相	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 地域デザイン	6. 最初と最後の頁 219～255
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 菅原 育子・荻野 亮吾	4. 巻 66
2. 論文標題 地域活動を通じた高齢者のエンパワメントの過程 「コミュニティ・エンパワメント」の観点からの事例分析	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 日本の社会教育	6. 最初と最後の頁 54～66
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 湯本 浩之	4. 巻 561
2. 論文標題 積極的平和としての貧困撲滅と格差是正に向けて アジア生協協力基金の役割と今後の課題	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 生活協同組合研究	6. 最初と最後の頁 40～48
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.57538/consumercoopstudies.561.0_40	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 近藤 牧子	4. 巻 19
2. 論文標題 第7回ユネスコ国際成人教育会議に向けた市民社会組織によるアドボカシーの組織化過程	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 日本公民館学会年報	6. 最初と最後の頁 118～125
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24661/kominkan.19.4.2	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 湯本 浩之	4. 巻 22
2. 論文標題 開発教育協会の組織事業の概要と今後の課題	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 世界の社会福祉年鑑	6. 最初と最後の頁 416～436
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 湯本 浩之	4. 巻 69
2. 論文標題 DEARの設立40周年に想う この10年とこれからの10年	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 開発教育	6. 最初と最後の頁 2-8
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 荻野 亮吾・田中 治彦・近藤 牧子・二ノ宮リム さち・岩本 泰・湯本 浩之	4. 巻 7
2. 論文標題 持続可能な地域の形成条件に関する事例研究(1)：岡山市におけるESD・SDGs推進体制を事例にして	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 佐賀大学大学院学校教育学研究科紀要	6. 最初と最後の頁 216～233
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.34551/00023467	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 近藤 牧子・荻野 亮吾・田中 治彦・二ノ宮リム さち・岩本 泰・湯本 浩之	4. 巻 7
2. 論文標題 持続可能な地域の形成条件に関する事例研究(2)：札幌市におけるESD・SDGs推進体制を事例にして	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 佐賀大学大学院学校教育学研究科紀要	6. 最初と最後の頁 234～250
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.34551/00023468	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 二ノ宮リム さち・齋藤 真哉・的野 信一・荻野 亮吾・近藤 牧子・田中 治彦・岩本 泰・湯本 浩之	4. 巻 7
2. 論文標題 持続可能な地域の形成条件に関する事例研究(3) : 東京都板橋区におけるESD・SDGsに関わる市民の学習活動を事例にして	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 佐賀大学大学院学校教育学研究科紀要	6. 最初と最後の頁 251~270
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.34551/00023469	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 秋吉 恵・小峯 茂嗣・藤掛 洋子・磯野 昌子・田中 治彦	4. 巻 22
2. 論文標題 海外体験学習における第3 の道 : オンライン実践 コロナ禍で実施されたNGOとの協働事例から	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 立命館高等教育研究	6. 最初と最後の頁 37~54
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.34382/00017158	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 二ノ宮リム さち	4. 巻 7
2. 論文標題 シティズンシップ教育とパブリック・アチーブメント その意義と課題を考える	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 東海大学スチューデントアチーブメントセンター紀要	6. 最初と最後の頁 23-31
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 田中 治彦	4. 巻 57
2. 論文標題 History of Youth Work and Social Education in Japan (2)	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 上智大学教育学論集	6. 最初と最後の頁 55~75
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 岩本 泰・近藤 真由・梶井 龍太郎・室田 憲一・木下 理仁・二ノ宮リム さち	4. 巻 53
2. 論文標題 持続可能な社会の担い手を育むシティズンシップ教育の可能性 SOHUM「アースミュージアム」プロジェクト報告	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 東海大学教養学部紀要	6. 最初と最後の頁 229～234
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 田中 治彦	4. 巻 第39巻第1号
2. 論文標題 18歳成人と教育の課題	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 思春期学	6. 最初と最後の頁 152～157
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 田中 治彦	4. 巻 92
2. 論文標題 SDGs (持続可能な開発目標) 学習の進め方: 世界を「変革」する教育とは?	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 地歴・公民科資料	6. 最初と最後の頁 1～6
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tanaka Haruhiko	4. 巻 15
2. 論文標題 Development of the ibasho concept in Japanese education and youth work: Ibasho as a place of refuge and empowerment for excluded people	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Educational Studies in Japan	6. 最初と最後の頁 3～15
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.7571/esjkyoiku.15.3	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 近藤 牧子	4. 巻 第57巻
2. 論文標題 SDG4をめぐる国際的動向と参加・包摂（共生）・シティズンシップ	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 社会教育学研究	6. 最初と最後の頁 56～57
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 菅原 育子・荻野 亮吾・久保田 治助・堀 薫夫	4. 巻 38巻
2. 論文標題 地域コミュニティにおけるコミュニティ・エンパワメント手法の比較	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 西武文理大学サービス経営学部研究紀要	6. 最初と最後の頁 77～90
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 荻野 亮吾・似内 遼一・高瀬 麻以・深谷 麻衣	4. 巻 6巻1号
2. 論文標題 地域づくり分野と都市計画分野におけるコミュニティ・エンパワメント手法の比較	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 佐賀大学教育学部研究論文集	6. 最初と最後の頁 121～156
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 近藤 牧子	4. 巻 204号
2. 論文標題 教育から大人を取り残さない：第7回ユネスコ国際成人教育会議に向けて	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 DEAR News	6. 最初と最後の頁 2～4
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 八木 信一・荻野 亮吾	4. 巻 88巻4号
2. 論文標題 『飯田市公民館活動記録』の分析：地域自治組織設立後を対象として	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 経済学研究	6. 最初と最後の頁 69～135
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 荻野 亮吾・西野 亜希子・三浦 貴大・藪 謙一郎	4. 巻 906号
2. 論文標題 成熟社会に向けた地域交流拠点の役割と運営方法：市民社会組織を対象にした調査結果から	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 社会教育	6. 最初と最後の頁 18～25
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 近藤 牧子	4. 巻 68号
2. 論文標題 d-lab2020第3分科会 SDGsに教育でどう取り組むのか？：気候変動を切り口に考える	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 開発教育	6. 最初と最後の頁 50～55
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高瀬 麻以・荻野 亮吾・似内 遼一・深谷 麻衣	4. 巻 6巻
2. 論文標題 地域コミュニティを対象にしたアクション・リサーチ論のレビュー	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 佐賀大学大学院学校教育学研究科紀要	6. 最初と最後の頁 140～162
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.34551/00023192	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 田中 治彦	4. 巻 56号
2. 論文標題 History of Youth Work and Social Education in Japan (1)	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 上智大学教育学論集	6. 最初と最後の頁 73～89
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 岩本 泰・室田 憲一	4. 巻 第16号
2. 論文標題 ファッションから考える「SDGsの教育」実践研究：東海大学教養学部 SOHUM「アースミュージアム」プロジェクトから	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 日本環境教育学会関東支部年報	6. 最初と最後の頁 83～88
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 岩本 泰・近藤 真由・梶井 龍太郎・室田 憲一・木下 理仁	4. 巻 第52輯
2. 論文標題 ファッションから考える「SDGsの教育」の意義：SOHUM「アースミュージアム」プロジェクト報告	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 東海大学紀要教養学部	6. 最初と最後の頁 141～148
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 二ノ宮リム さち・池谷 美衣子・田島 祥	4. 巻 第6集
2. 論文標題 全学必修シティズンシップ教育科目の遠隔実施における課題と可能性：教員アンケートをもとに	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 東海大学スチューデントアチーブメントセンター紀要	6. 最初と最後の頁 31～52
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 近藤 牧子	4. 巻 第23号
2. 論文標題 18歳成人までに知っておきたいこと	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 時事問題を教室で学ぶためのメディア・リテラシー教材 グローバル・エクスプレス	6. 最初と最後の頁 4~8
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Horimoto Mayuko, Ninomiya-Lim Sachi	4. 巻 14
2. 論文標題 Nurturing Citizenship in Higher Education: Public Achievement-style Education at Tokai University	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Educational Studies in Japan	6. 最初と最後の頁 29-38
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.7571/esjkyoiku.14.29	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 田中 治彦	4. 巻 1
2. 論文標題 SDGsで持続可能な社会の創り手を育てる教育を	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 新教育ライブラリPremier	6. 最初と最後の頁 18-21
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 湯本 浩之	4. 巻 1
2. 論文標題 知っていますかSDGs: 持続可能な開発目標の概要と今後の課題	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 新教育ライブラリPremier	6. 最初と最後の頁 22-25
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中川 友理絵・荻野 亮吾	4. 巻 25
2. 論文標題 日本の高等教育における地域と連携した学習 (Community-Based Learning) の研究動向	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 日本地域政策研究	6. 最初と最後の頁 34-43
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 田中 治彦	4. 巻 5
2. 論文標題 SDGsと教育の多角的取り組み	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 立教ESDジャーナル	6. 最初と最後の頁 6-7
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 荻野 亮吾	4. 巻 17
2. 論文標題 Withコロナ時代における地域のつながりづくりの方法	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 日本公民館学会年報	6. 最初と最後の頁 57-65
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24661/kominkan.17.0_57	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 近藤 牧子	4. 巻 17
2. 論文標題 SDGs時代の成人学習・教育 (ALE) の国際的展開: SDG4.7とアクティビティズンシップスキルの教育の課題	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 日本公民館学会年報	6. 最初と最後の頁 129-138
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24661/kominkan.17.0_129	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 田中 治彦	4. 巻 798
2. 論文標題 「持続可能な社会の創り手」を育てる	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 部落解放	6. 最初と最後の頁 12-19
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 田中 治彦	4. 巻 67
2. 論文標題 気候変動問題にどう向き合うか：開発教育の視点から	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 開発教育	6. 最初と最後の頁 4-11
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 荻野 亮吾・八木 信一	4. 巻 5
2. 論文標題 自治の質量とまちづくりの飯田モデル：地域自治（運営）組織への示唆として	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 佐賀大学教育学部研究論文集	6. 最初と最後の頁 193-212
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 似内 遼一・荻野 亮吾・梅本 大輔・松村 優・櫻井 理加・細萱 一立・遠藤 良顕	4. 巻 22
2. 論文標題 郊外住宅地に住む高齢者の外出を維持する地域戦略のあり方に関する一考察	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 福祉のまちづくり研究	6. 最初と最後の頁 23-34
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.18975/jais.22.Paper_23	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 Tanaka, H.	4. 巻 15
2. 論文標題 Development of the ibasho concept in Japanese education and youth work: Ibasho as a place of refuge and empowerment for excluded people	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Educational Studies in Japan: International Yearbook	6. 最初と最後の頁 15-27
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 田中 治彦	4. 巻 39
2. 論文標題 18歳成人と教育の課題	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 思春期学	6. 最初と最後の頁 139-144
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 岩本 泰・室田 憲一	4. 巻 15
2. 論文標題 持続可能な未来の担い手を育む「SDGsの教育」の検討	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 日本環境教育学会関東支部年報	6. 最初と最後の頁 63-68
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 湯本 浩之	4. 巻 200
2. 論文標題 SDGs後の世界は持続可能なのか? : 「SDGsを学ぶこと」の死角と課題を考える	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 DEAR News	6. 最初と最後の頁 2-4
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 田中 治彦	4. 巻 806号
2. 論文標題 SDGs (国連・持続可能な開発目標) とは何か?	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 理科の教育	6. 最初と最後の頁 17-21
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 荻野 亮吾	4. 巻 40号
2. 論文標題 子どもの貧困対策における官民パートナーシップの可能性	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 日本生涯教育学会年報	6. 最初と最後の頁 25-41
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 近藤 牧子・田中 治彦	4. 巻 66号
2. 論文標題 開発教育全国研究集会分科会3報告 SDGsの基本理念を考える - ワークショップ版世界がもし100人の村 だったら」を事例に -	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 開発教育	6. 最初と最後の頁 77-81
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 荻野 亮吾	4. 巻 91号
2. 論文標題 サードセクターを巡る近年の研究動向	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 生協総研レポート	6. 最初と最後の頁 14-30
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 近藤 牧子	4. 巻 1号
2. 論文標題 持続可能な開発の理念を反映する教育方法の検討	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 立正大学教職教育センター年報	6. 最初と最後の頁 25-37
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 岩本 泰・室田 憲一	4. 巻 No.14
2. 論文標題 地域で考える「SDGs の教育」の意義	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 日本環境教育学会関東支部年報	6. 最初と最後の頁 47-52
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 荻野 亮吾	4. 巻 887号
2. 論文標題 公民館の事業構想 - 地域のソーシャル・キャピタルを育む拠点として -	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 社会教育	6. 最初と最後の頁 14-20
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計53件(うち招待講演 11件/うち国際学会 11件)

1. 発表者名 二ノ宮リム さち
2. 発表標題 「SDGsと対話」の視点から
3. 学会等名 原発事故後の福島を考える研究会・SDGsの教育研究会, 日本環境教育学会第34回大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Sachi Ninomiya-Lim
2. 発表標題 Nurturing Citizenship for Transforming the World toward Sustainability
3. 学会等名 World Environmental Education Congress (国際学会)
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 Sachi Ninomiya-Lim
2. 発表標題 "What is CN Education and How Do We Promote It?"
3. 学会等名 Japan and US Bilateral Climate Coalition Workshop, 2022 Higher Education Climate Leadership Summit (招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 田中 治彦
2. 発表標題 SDGsと平和・核、社会教育（今こそ平和・核を話そう ウクライナ情勢から考える社会教育の語り・学びの場
3. 学会等名 日本社会教育学会 国際交流委員会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 荻野 亮吾
2. 発表標題 SDG4の視点と社会教育実践の新たな方向性
3. 学会等名 日本社会教育学会 2022年度六月集会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 二ノ宮リム さち
2. 発表標題 "誰も取り残さない"社会へ向けたエンパワメントとしての対話～参画・創造・文化形成と学習・教育
3. 学会等名 日本社会教育学会 プロジェクト研究「SDGsと社会教育・生涯学習」第6回公開研究会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 井柳 美紀、土肥 潤也、二ノ宮リム さち、藤枝 聡、堀本 麻由子、小玉 重夫、村松 灯
2. 発表標題 18歳成人と大学初年次教育 ポストコロナ時代のアセンブリ
3. 学会等名 日本教育学会 第81回大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 二ノ宮リム さち
2. 発表標題 知る・わかる・伝えるSDGs 第二巻と終章から
3. 学会等名 日本環境教育学会 第33 回年次大会「SDGs の教育」研究会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 荻野 亮吾
2. 発表標題 コミュニティ・エンパワメントの体系化に向けた介入手法と評価方法の整理
3. 学会等名 日本学習社会学会 第19回研究大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 田中 治彦
2. 発表標題 イギリスにおけるユースワークとシティズンシップ教育
3. 学会等名 日本学習社会学会 第19回研究大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 近藤 牧子
2. 発表標題 SDGsに応える社会教育 アクティブ・シティズンシップ涵養の観点から
3. 学会等名 日本社会教育学会 第69回研究大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 二ノ宮リム さち・近藤 牧子
2. 発表標題 市民と市民・市民と行政のパートナーシップを育む学習コミュニティ形成～社会教育委員関係者の協働によるラウンドテーブル実践「あきしま会議」から
3. 学会等名 日本社会教育学会 第69回研究大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 二ノ宮リム さち
2. 発表標題 脱炭素時代の地域デザインー環境教育学の観点から
3. 学会等名 地域デザイン学会第2回 SDGs NEXT フォーラム(招待講演)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 二ノ宮リム さち
2. 発表標題 地域における地域の学び SDGsいたばしネットワークの取り組み 『ボランティア・市民活動学習推進センターいたばし』との出会いから18年 ふたつの調査をふりかえって(書面報告)
3. 学会等名 日本公民館学会スプリングフォーラム
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 岩本 泰
2. 発表標題 フェアトレードで取り組む<まちづくり> : 逗子市フェアトレードタウンの活動を環境福祉の視点から考える
3. 学会等名 環境福祉学会2021年度公開セミナー
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 近藤 牧子
2. 発表標題 持続可能な開発に向けた教育ファシリテーションに対する教師の問題意識 : 教育方法観の変容調査をもとに
3. 学会等名 国際理解教育学会第30回研究大会発表
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 二ノ宮リム さち・池谷 美衣子
2. 発表標題 全学的正課教育と課外自主活動を通じた学生の社会的実践力育成
3. 学会等名 日本環境学会第47回研究発表会(招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 二ノ宮リム さち
2. 発表標題 大学の気候変動教育：シティズンシップと対話の視点から
3. 学会等名 日本環境教育学会第32回年次大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 田中 治彦
2. 発表標題 成人式の歴史と課題
3. 学会等名 日本社会教育学会第68回研究大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 二ノ宮リム さち
2. 発表標題 持続可能な社会を拓く「対話」とその学習（2）
3. 学会等名 日本社会教育学会第68回研究大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 岩本 泰
2. 発表標題 フェア・SDの本質を問う「SDGsの教育」実践研究：繊維・アパレル産業を事例として
3. 学会等名 日本社会教育学会第68回研究大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Sachi Ninomiya-Lim
2. 発表標題 University-wide Online Citizenship Education under Pandemic: Case from Japan
3. 学会等名 North American Association for Environmental Education 50th Annual Conference (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 湯本 浩之
2. 発表標題 日本社会の「貧困・格差」の現状とその論点
3. 学会等名 開発教育協会 第39回開発教育全国研究集会 (d-lab2021) 第3分科会 (招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Sachi Ninomiya-Lim, Kimiharu To, Shih-Tshen Nike Liu, Tomoko Mori and Ryo Sakurai
2. 発表標題 EE and Citizenship under Pandemic: International Connection for Collaborative Study
3. 学会等名 North American Association for Environmental Education 50th Annual Conference (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Shigeo Kodama, Mayuko Horimoto, Sachi Ninomiya-Lim and So Fujieda
2. 発表標題 Public Achievement and Citizenship Education in Japanese Universities
3. 学会等名 2021 American Educational Research Association Research Conference (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 二ノ宮リム さち
2. 発表標題 SDGsの理念にもとづく地域づくりの鍵
3. 学会等名 サステナブル・ブランド国際会議2022横浜（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Sachi Ninomiya-Lim
2. 発表標題 Empowering Students for Sustainability with 'Public Achievement' under Pandemic - Online Citizenship Education of Tokai University Japan
3. 学会等名 11th World Environment Education Congress（国際学会）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 岩本 泰
2. 発表標題 持続可能な社会の創り手を育むSDGsの教育：学校・地域・社会・世界のつながりを描く
3. 学会等名 地域デザイン学会第1回 SDGs NEXTフォーラム（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 二ノ宮リム さち
2. 発表標題 持続可能性は普遍的価値となりえるか：6つのキーワードから
3. 学会等名 地域デザイン学会第1回 SDGs NEXTフォーラム（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Sachi Ninomiya-Lim
2. 発表標題 Women in 'Dialogues' for a Sustainable Future
3. 学会等名 NGO CSW 66 Forum (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 二ノ宮リム さち
2. 発表標題 持続可能な地域づくり対話の教育
3. 学会等名 日本環境教育学会第31回年次大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 萩野 亮吾
2. 発表標題 地方創生下のコミュニティをめぐる「協働」論理の変容
3. 学会等名 日本教育社会学会第72回研究大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 萩野 亮吾
2. 発表標題 地域自治と教育福祉の再編下における高齢者学習支援
3. 学会等名 日本社会教育学会第67回研究大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 近藤 牧子
2. 発表標題 SDG4をめぐる国際的動向と参加・包摂（共生）・シティズンシップ
3. 学会等名 日本社会教育学会第67回研究大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 田中 治彦
2. 発表標題 プロジェクト研究『SDGsと社会教育・生涯学習』研究の展望
3. 学会等名 日本社会教育学会第67回研究大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 二ノ宮リム さち
2. 発表標題 持続可能な社会を拓く「対話」とその学習
3. 学会等名 日本社会教育学会第67回研究大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Sachi Ninomiya-Lim
2. 発表標題 `Empowerment for Sustainability Dialogues - Incorporating "Nonviolent Communication (NVC)
3. 学会等名 EE, North American Association for Environmental Education (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 岩本 泰
2. 発表標題 フェアトレードタウン逗子で考える「SDGsの教育」の意義
3. 学会等名 日本シティズンシップ教育学会第1回オンライン大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 八木 信一・荻野 亮吾
2. 発表標題 再エネ条例施行後におけるエネルギー自治の展開：長野県飯田市を事例として
3. 学会等名 京都大学再生可能エネルギー経済学講座 第1回再エネ講座シンポジウム2020（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 二ノ宮リム さち
2. 発表標題 コロナ時代の公民館×SDGs～『誰も取り残さない』社会教育とは（助言）
3. 学会等名 東京都公民館連絡協議会第57回東京都公民館研究大会・第一課題別集会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 二ノ宮リム さち
2. 発表標題 環境教育×NVC 持続可能な未来をつくる「対話」の力
3. 学会等名 清里ミーティング
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 岩本 泰
2. 発表標題 フェアトレードタウンで考えるSDGs
3. 学会等名 日本環境教育学会第30回年次大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 二ノ宮リム さち
2. 発表標題 持続可能な社会を創る「対話」の力とは
3. 学会等名 日本環境教育学会 第30回年次大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 岩本 泰
2. 発表標題 フェアトレードタウン(逗子市)で考えるSDGs
3. 学会等名 日本ESD学会第2回大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 湯本 浩之
2. 発表標題 教材体験ワークショップ「“地球にやさしい”ってなんだろう?」: ESDにおける開発教育教材の応用と課題
3. 学会等名 日本ESD学会第2回大会ワークショップ
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 荻野 亮吾・中川 友理絵
2. 発表標題 地域での学習の組織化に関する高等教育機関の取り組みの現状と課題
3. 学会等名 日本社会教育学会第66回研究大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 近藤 牧子
2. 発表標題 成人教育における「質 (quality)」をめぐる国際的論点の検討
3. 学会等名 日本社会教育学会第66回研究大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 二ノ宮リム さち
2. 発表標題 持続可能な社会づくりと「対話」の力
3. 学会等名 日本社会教育学会第66 回研究大会ラウンドテーブル「SDGsと社会教育」
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 二ノ宮リム さち
2. 発表標題 対話の力を育む社会教育：「非暴力コミュニケーション (NVC)」に着目して
3. 学会等名 日本社会教育学会第66回研究大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Ninomiya-Lim, S.
2. 発表標題 ESD in Japan under the Wave of SDGs
3. 学会等名 International Workshop on Environmental Education ( 中華民國(台湾)教育部主催「國際環境教育課題ワークショップ」 ) ( 招待講演 ) ( 國際学会 )
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Ninomiya-Lim, S.
2. 発表標題 Education for 'Sustainability' - An Empty Signifier or the Universal Principle for the New Era?
3. 学会等名 2019 CSEE Annual Symposium ( 2019年中華民(台湾)國環境教育學術的實踐的交流國際学会 ) ( 招待講演 ) ( 國際学会 )
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Ninomiya-Lim, S., To, K., Sakurai, R., Furihata, S., and Tabiraki, K.
2. 発表標題 Promoting International Collaboration for Diversifying Education Research - Based on the Experience of the Japanese Society for Environmental Education and its International Partners
3. 学会等名 World Education Research Association 2019 Focal Meeting ( 國際学会 )
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Ninomiya-Lim, S.
2. 発表標題 Promoting International Research Collaboration for Environmental Education in Asia - Challenges and Possibilities
3. 学会等名 The 10th World Environmental Education Congress ( 國際学会 )
4. 発表年 2019年

〔図書〕 計33件

1. 著者名 田中 治彦・近藤 牧子ほか	4. 発行年 2023年
2. 出版社 開発教育協会	5. 総ページ数 76
3. 書名 18歳成人とキャリア教育：グローバル社会で「おとなになる」を考える	

1. 著者名 田中 治彦・近藤 牧子・二ノ宮リム さち ほか（分担執筆）	4. 発行年 2023年
2. 出版社 東洋館出版社（日本社会教育学会 編）	5. 総ページ数 268
3. 書名 SDGsと生涯学習・社会教育（『日本の社会教育』67集）	

1. 著者名 田中 治彦（単著）	4. 発行年 2024年
2. 出版社 人言洞	5. 総ページ数 192
3. 書名 新SDGs論：現状・歴史そして未来をとらえる	

1. 著者名 湯本 浩之・西岡 尚也・黛 京子（共編著）	4. 発行年 2024年
2. 出版社 学文社	5. 総ページ数 165
3. 書名 SDGs時代の地理教育：「地理総合」への開発教育からの提案	

1. 著者名 近藤 牧子 ほか	4. 発行年 2024年
2. 出版社 公害地域再生センター（あおぞら財団）	5. 総ページ数 42
3. 書名 気候変動×防災×公害ハンドブック：未来に手渡したい環境と社会を考える	

1. 著者名 池谷 美衣子・二ノ宮リム さち・田島 祥（共編著）	4. 発行年 2024年
2. 出版社 学文社	5. 総ページ数 176
3. 書名 人生を拓く・社会を創る：シティズンシップの学び	

1. 著者名 二ノ宮リム さち・岩本 泰（分担執筆）	4. 発行年 2022年
2. 出版社 学文社（阿部 治・朝岡 幸彦 編著）	5. 総ページ数 160
3. 書名 知る・わかる・伝えるSDGs 教育・パートナーシップ・ポストコロナ	

1. 著者名 荻野 亮吾・丹間康仁（編著）	4. 発行年 2022年
2. 出版社 大学教育出版	5. 総ページ数 232
3. 書名 地域教育経営論：学び続けられる地域社会のデザイン	

1. 著者名 湯本 浩之(分担執筆)	4. 発行年 2022年
2. 出版社 ミネルヴァ書房(大森 佐和・西村 幹子 編著)	5. 総ページ数 224
3. 書名 よくわかる開発学	

1. 著者名 岩本 泰(分担執筆)	4. 発行年 2022年
2. 出版社 人言洞(降旗 信一・金馬 国晴・加納 寛子・佐々木 豊志 編著)	5. 総ページ数 160
3. 書名 DX時代の人づくりと学び	

1. 著者名 二ノ宮リム さち・朝岡 幸彦(共編)	4. 発行年 2023年
2. 出版社 人言洞	5. 総ページ数 160
3. 書名 社会教育・生涯学習入門：誰ひとり置き去りにしない未来へ	

1. 著者名 二ノ宮リム さち(分担執筆)	4. 発行年 2023年
2. 出版社 学文社(鈴木 敏正・朝岡 幸彦 編著)	5. 総ページ数 168
3. 書名 社会教育・生涯学習論 - 改訂版：自分と世界を変える学び	

1. 著者名 高塚雄介（編）、田中治彦 ほか（分担執筆）	4. 発行年 2021年
2. 出版社 遠見書房	5. 総ページ数 176
3. 書名 ひきこもりの理解と支援	

1. 著者名 岩本 泰・小野 行雄・風巻 浩・山西 優二（共編著）	4. 発行年 2021年
2. 出版社 明石書店	5. 総ページ数 240
3. 書名 SDGs時代の学びづくり：地域から世界とつながる開発教育	

1. 著者名 阿部 治・二ノ宮リム さち（共編）、近藤 牧子 ほか（分担執筆）	4. 発行年 2021年
2. 出版社 学文社	5. 総ページ数 160
3. 書名 知る・わかる・伝えるSDGs エネルギー・しごと・産業と技術・平等・まちづくり	

1. 著者名 荻野 亮吾（単著）	4. 発行年 2022年
2. 出版社 勁草書房	5. 総ページ数 320
3. 書名 地域社会のつくり方：社会関係資本の醸成に向けた教育学からのアプローチ	

1. 著者名 伊藤 容子・近藤 牧子・中村 絵乃（共著）	4. 発行年 2022年
2. 出版社 開発教育協会	5. 総ページ数 24
3. 書名 NGOが取り組む教材づくり：楽しさ・難しさ・悩ましさ	

1. 著者名 阿部 治・岩本 泰（共編著）、湯本 浩之 ほか（分担執筆）	4. 発行年 2022年
2. 出版社 学文社	5. 総ページ数 160
3. 書名 知る・わかる・伝えるSDGs 生産と消費・気候変動・海の豊かさ・陸の豊かさ・平和と公正	

1. 著者名 小玉 敏也・金馬 国晴・岩本 泰（編著）	4. 発行年 2020年
2. 出版社 学文社	5. 総ページ数 200
3. 書名 総合的な学習 / 探究の時間	

1. 著者名 田中 治彦（単著）	4. 発行年 2020年
2. 出版社 成人式とはなにか	5. 総ページ数 80
3. 書名 岩波書店	

1. 著者名 荻野 亮吾 (分担執筆)	4. 発行年 2021年
2. 出版社 学文社 (山本 珠美・熊谷 慎之輔・松橋 義樹 編著)	5. 総ページ数 256
3. 書名 社会教育経営の基礎	

1. 著者名 近藤 牧子・田中 治彦・松倉 紗野香・中村 絵乃・伊藤 容子 (編著)、湯本 浩之 ほか (分担執筆)	4. 発行年 2021年
2. 出版社 開発教育協会	5. 総ページ数 96
3. 書名 SDGs学習のつくりかた：開発教育実践ハンドブック	

1. 著者名 田中 治彦・枝廣淳子・久保田 崇 (編著)	4. 発行年 2019年
2. 出版社 学文社	5. 総ページ数 280
3. 書名 SDGsとまちづくり：持続可能な地域と学びづくり	

1. 著者名 岩本 泰 (分担執筆)	4. 発行年 2019年
2. 出版社 キーステージ21 (日本環境教育学会編)	5. 総ページ数 197
3. 書名 「二つの人口問題：過疎と過密」『環境学習のラーニング・デザイン：アクティブ・ラーニングで学ぶ持続可能な社会づくり』	

1. 著者名 荻野 亮吾 (分担執筆)	4. 発行年 2019年
2. 出版社 教育出版 (日本環境教育学会, 日本国際理解教育学会, 日本社会教育学会, 日本学校教育学会, SDGs市民社会ネットワーク, グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン編)	5. 総ページ数 245
3. 書名 「社会関係資本」 『事典 持続可能な社会と教育』	

1. 著者名 近藤 牧子 (分担執筆)	4. 発行年 2019年
2. 出版社 教育出版 (日本環境教育学会, 日本国際理解教育学会, 日本社会教育学会, 日本学校教育学会, SDGs市民社会ネットワーク, グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン編)	5. 総ページ数 245
3. 書名 「開発教育」 『事典 持続可能な社会と教育』	

1. 著者名 二ノ宮リム さち (分担執筆)	4. 発行年 2019年
2. 出版社 教育出版 (日本環境教育学会, 日本国際理解教育学会, 日本社会教育学会, 日本学校教育学会, SDGs市民社会ネットワーク, グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン編)	5. 総ページ数 245
3. 書名 「エンパワーメント」 『事典 持続可能な社会と教育』	

1. 著者名 岩本 泰・小玉 敏也・降旗 信一 (編著)	4. 発行年 2019年
2. 出版社 学文社	5. 総ページ数 183
3. 書名 教職概論: 「包摂的で質の高い教育」のために (SDGsと学校教育シリーズ)	

1. 著者名 田中 治彦・奈良 正裕・藤原 孝章（編著）、近藤 牧子（分担執筆）	4. 発行年 2019年
2. 出版社 学文社	5. 総ページ数 203
3. 書名 SDGsカリキュラムの創造：ESDから広がる持続可能な未来	

1. 著者名 長岡 智寿子・近藤 牧子（編著）	4. 発行年 2020年
2. 出版社 東洋館出版	5. 総ページ数 198
3. 書名 生涯学習のグローバルな展開：ユネスコ国際成人教育会議がつなぐSDG4の達成	

1. 著者名 湯本 浩之（分担執筆）	4. 発行年 2020年
2. 出版社 春風社（吉川 健治 編）	5. 総ページ数 141
3. 書名 「オルタナティブな開発と教育：持続可能な開発目標（SDGs）における開発教育の課題と役割」『国際協力の行方：経済・開発・オルタナティブ』（東洋英和女学院大学社会科学叢書8）	

〔産業財産権〕

〔その他〕

<p>公開用ウェブサイト「社会教育・生涯学習とSDGs」 URL: <a href="https://ale-sdgs.yumoto.net/">https://ale-sdgs.yumoto.net/</a></p>
---

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	荻野 亮吾 (Ogino Ryogo) (50609948)	日本女子大学・人間社会学部・准教授  (32670)	
研究分担者	岩本 泰 (Iwamoto Yutaka) (70548007)	東海大学・教養学部・教授  (32644)	
研究分担者	二ノ宮リム さち (Ninomiya- Sachi) (90646499)	東海大学・現代教養センター・准教授  (32644)	

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究協力者	田中 治彦 (Tanaka Haruhiko)		
研究協力者	近藤 牧子 (Kondo Makiko)		

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関